人輝くまちの情報誌「広報あきたかた」

# Akitakata

NO.147
5
2016.May

発行編集 安芸高田市 政策企画課 〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791 Tel.(0826)42-5627 Fax.(0826)42-4376 http://www.akitakata.jp/

（今月の主な内容）

2ページ 特集 安芸高田市で咲き誇れ～第２期地域おこし協力隊員～
22ページ 特集 私たちの選択…

## 安芸高田歴史紀行

# タヌケヤケ城（たぬけがじょう）

《美土里町横田》

周辺位置図

タヌケヤケ城遠望（南側／多治比より撮影）

【登城ガイド】
標高／509m、比高／170m
史跡指定／未指定
城主／不明
所要時間／西麓から徒歩約30分

安芸高田市歴史民俗博物館
学芸員 秋本哲治

シリーズ「お城拝見！」第六十七回

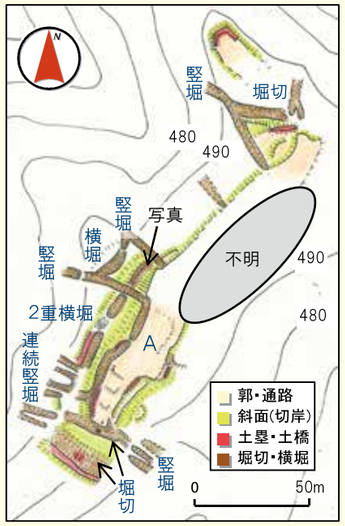
昨年度一旦終了したこのシリーズですが、皆様からのご要望もあり、もう少し続編を執筆することになりました。毎月ではありませんがよろしくお願いします。今回は、地元の方の案内で初めて確認した新発見の城です。

**立地**：美土里町と吉田町の町境の周囲と隔絶した高い山上にあります。西側山麓に瀬木峠（県道）、東側山麓に大峠（林道）が通っていますが、非常に深い山奥であり、多治比からも横田からも山全体を望むことができません。なお、大峠を隔てて1.5km東には、ここより50m標高の高い山に風越山城があります。

**歴史**：城跡自体がこれまで全く知られておらず、由来等はありません。地元に伝わる名称も「タヌケ」か「タヌキ」か不明です。ちなみに天文9（1540）年、郡山合戦時に尼子軍がまず「多治比」に着陣したことが元就の記録にあります。尼子本陣は風越山とあるので風越山を中心に多治比一帯に尼子軍が布陣したと考えられ、この辺りに尼子軍の拠点があってもおかしくはありません。

**城跡**：中央東側が伐採による倒木で地表面の形状が不明瞭ですが、南側の遺構が良く残ります。頂上部に長く伸びる郭Aが中心ですが、郭が連なる通常の山城とは異なり、郭よりも堀切、竪堀、横堀が複雑に多数配置されています。特に2重の横堀と連続竪堀が揃うのは市内では唯一で、緊迫していた状況が伺えます。

**考察**：横堀を多用した特殊な構造や立地などが風越山城と類似していることから、尼子軍の陣城の可能性があります。とすると、この発見で郡山合戦や当時の城の見方が変わるかもしれません。この意義は極めて大きいといえます。




タヌケヤケ城略測図（作図 秋本哲治）

横堀と土塁（北側より撮影）

## 編集後記

異動により広報担当になりました。別れと出会いが共存するこの時期、前職でお世話になった方々の支援をいただきながら、市民の皆様方が求める行政情報を発信していきますので、よろしくお願いします。（久光）

今年度から広報担当になりました。前任者の熱い思いを引き継ぎつつ、自分たらしさも取り入れた広報紙作成に精進していきますのでよろしくお願いします。（森山）

異動により広報担当から新たな職場へ…。この仕事に愛着を感じ始めただけに残念ですが、良い経験と沢山の繋がりを作ることができました。やり残した事はあっても、自分の目標だった事は誰かの為にも働くことができた“気持ちはやり遂げる事がこの一年、取材に応じていただき全ての方々に、深く感謝とおお礼を申し上げます。そして“これからの広報”をよろしくお願いします。（原田）

### 今月の表紙▼

▽三月末で退職した前担当者の田村さんに最後の仕事として依頼したのが、広報の表紙に出ても断ったことでした。素顔では嫌ですとの地域おこし協力隊員とられたので、登場協力隊員らいましたが、ある役捕らしてもうた宇宙人“元ネタ”おわれも真合成で挑はでの写担当の森山さんの田村さんの新頑張ってくださいけそうにディ励まされたまにに二人と、無理を聞いてくれたシンセイアートの社員の方々に感謝します。（株）